

# 青木村子どもはつらつネットワーク通信

令和3年度 第193号 12月1日  
青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行

今月号は先月に引き続き、こまゆみ祭で義民太鼓に参加した子どもたちの、私が思う「義民の心」、指導してくださった方々への感謝の気持ちなどをお伝えします。



❖この度は義民太鼓の指導をして頂き本当にありがとうございました。私は裏方として仕事をさせていただきました。私は練習の中で保存会の方が「一人ひとりが主役、裏方も例外ではない。」と言っていて、とても頑張ろうという気持ちになりました。私は「一人ひとりが自分の仕事を全うする」ということが「義民の心」だと思います。本当にありがとうございました。（3年男子）



❖練習の時たくさん手に“まめ”ができました。汗でしみて「痛いなー。辛いなー。」と思うとき、宮入さんが「まめは頑張っている証。」と言ってくださったことがとても印象に残っています。私が思う「義民の心」は宮入さんが言っていた「一人ひとりがメイン」という言葉にあると思います。この言葉は義民だけではなく委員会でも言えると思いました。この言葉に出会えて本当によかったです。私たちに太鼓の指導はもちろん、辛い時には励ますような言葉をかけてくれてありがとうございました。宮入さんの「一人ひとりがメイン」という言葉は一生忘れません。ありがとうございました。（3年女子）

❖この度はご多忙中にもかかわらず僕たちのために時間を割いていただきありがとうございました。義民太鼓で「力を合わせる」ということを学びました。自分は初回の練習に参加できず2回目からの参加となりました。最初は何も分かりませんでしたが、友だちや色々な人が教えてくれたので、だんだん覚えてきて肩を並べて打てるようになりました。保存会の皆様のご指導もあり本番では最高のパフォーマンスをすることができました。また機会があったらよろしくお願ひします。本当にありがとうございました。（3年男子）



❖今までいろいろと教えてくださりありがとうございました。約3ヶ月間という短い間でしたが義民太鼓に関わることができてす

ごくうれしかったです。0からのスタートで自分がここまで太鼓を打てるようになるとは思いませんでした。自分がここまでこれたのは宮入さんをはじめ保存会の方々のおかげです。本当にありがとうございました。私にとって「義民の心」とは昔の人々が創り上げてきた物の心だと思います。代々受けつがれてきた伝統的な物だと思います。それに関わり義民のことが少し分かった気がします。本当にありがとうございました。（3年女子）

❖私が思う「義民の心」とは誰かのために本気で何かに取り組む心だと思います。自分も本番を観てくれている人のために全力で演奏することができました。全力で演奏をすることができたのは、保存会の皆様が覚えるのが遅い私に丁寧に打ち方を教えてくださったからです。これからも「義民の心」を忘れず、義民太鼓で学んだことはこれからの生活に生かしていきたいです。（3年男子）

❖私はこまゆみ祭の義民太鼓練習や本番を通して「義民の心」を本番前の拝礼、先生方の指導から学ぶことができたと思います。私は一昨年は照明、昨年は締、ほら貝。そして今年はセンターを打たせていただき打つところが毎年異なりましたが、3年の最後にセンターを打てたことがとても嬉しかったです。これからも小中では保存会の方にお世話になると思いますがよろしくお願いします。本当にありがとうございました。（3年男子）



❖部活が終わってしまい何か一つに熱くなると思うのが久しぶりで、みんなと一緒に部活をやっているみたいで嬉しかったです。練習中、手の関節が痛くなったりまめができたり何度もやめたいって思いましたが、周りのみんなも頑張ってるんだと思うと、自分が情けないなあ~と思う時が何度もありました。ですが本番思いっきり楽しくできたことが本当によかったです。本番思いっきりできたのは保存会の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。大変でしたがみんなで楽しく太鼓ができて本当によかったです。ありがとうございました。（3年女子）

❖私は義民をやることなく太鼓をやめてしまったので、今回は義民を打つことができ本当に嬉しく嬉しかったです。「義民の心」とはまさに「他人を想う心」だと思います。他人のために自分を犠牲にできる人に自分もなりたいです。初めは注意されることも多く辛い時もありましたが、褒めてもらえた時は本当に嬉しかったです。そして今回多くの人に支えてもらって活動ができるありがたさを改めて学びました。保存会のみなさんありがとうございました。（3年女子）

❖この度はお忙しい中、私たちのために時間を割いていただきありがとうございました。私は自分のためではなくみんなのために自分を犠牲にし、行動することを「義民の心」と

いうものだと思って太鼓を打ちました。周りから見てどうだったかはわかりませんが自分なりに一揆をイメージして打てたと思います。本当にありがとうございました。

(3年男子)

❖この度は義民太鼓を教えていただきありがとうございました。私が思う「義民の心」は不撓不屈の強い意志を持った心だと思いました。あらゆる困難にも負けない姿勢を持ち続け一揆を起こす、最後の最後まであきらめないその心を持っている、と演奏や宮入さんのお話しを通じて感じました。私はそんな義民の生まれた村に生きることができて嬉しく思います。練習の際に太鼓のたたき方から一つ一つの動作をわかりやすく厳しく教えてください、また、「鈴」の鳴らし方やたくさんのアドバイスをいただいたり、本番は自信をもって行うことができました。本当にありがとうございました。(3年女子)

❖私は太鼓を通して「義民の心」がどういうものなのか学びました。私が思う「義民の心」は自分のためだけでなく家族のため、村のために頑張ることだと思いました。青木村に住んでいても一揆のことについてはあまり知らなかったけど、義民太鼓を通して一揆のことについても知れました。ありがとうございました。(3年女子)



❖私は口上として義民太鼓に参加しました。毎年義民太鼓の口上を席から見て「あんな風にしゃべってみたい。」と口上に強いあこがれを持っていました。今年3年生となり義民太鼓の練習をした時、少しだけ「太鼓にしとけばよかったかも。」という後悔もありました。しかし口上が最初の雰囲気を持っていくことのうれしさが大きくなっていきました。先生に教えてもらった声の大きさや強弱、いただいたアドバイスの全て「義民の心」を精一杯表現するために大切なことであると知りました。私が思う「義民の心」それは「人のことを考え自分が人のためになにかをしようとする心」だと思います。口上のセリフを読み込んでいた中で、1、2年生の時に聞いただけでは分からなかった「義民太鼓の物語」が分かるようになりました。その時に私は百姓一揆を起こした人々は村にいる人々の生活を助けるために一揆を起こしたことを知りました。口上のセリフの深い意味が分かってきたら自分の中で「ここをこう言った方がみんなに伝わるかな。」と考えることも増えるよう



になりました。今太鼓が終わって振り返ると「口上として義民太鼓に参加できて本当に良かった。」と心から思います。先人たちの「義民の心」百姓一揆は私にたくさんのことを教えていただきました。百姓一揆を起こした半べいさんや浅のじょうさんなどの先人のみなさん、ありがとうございました。保存会のみなさん、このような歴

史を私に教えていただきありがとうございました。ずっとあこがれていた奥の深い口上ができ幸せです。口上の細かい所をたくさん教えてくださった先生、本当にありがとうございました。この思い出は大切な宝物にします。（3年女子）

❖ 今回の義民の演奏を通して私が思う「義民の心」はみんなのために自分自身を犠牲にして戦う百姓の人々の心が「義民の心」だと私は思います。わかりやすく丁寧に教えてくださりありがとうございました。また来年もよろしくお願いします。（2年女子）

❖ 今年度もありがとうございました。今回も裏方として参加させてもらいました。間近で先輩たちの打ち方を見ながら色々勉強させていただきました。私が思う「義民の心」は人のために自分が動くということだと思います。まあ当たり前なんですけどね。今回もありがとうございました。来年は打ち手として参加できれば良いなあと思っているので、その時はよろしくお願いします。（2年女子）

❖ いろいろとありがとうございました。会長の言葉で心に残っているのは「打ち方も裏方もみんなが主役」です。私は裏方だったけどこの言葉でもっと頑張れました。この義民太鼓を通して私も照明、裏方の仕事をしっかりやる、まっすぐな思いでできました。こうやってまっすぐに貫き通すことが「義民の心」だと私は思いました。本当にありがとうございました。（1年女子）



❖ 私はこの義民太鼓でスポットライトをやりました。最初は簡単そうだなと思っていました。でもやっているうちに先輩と合わせたり照明を切るタイミングとかを合

わせたりとても大変だなあということが分かりました。何度も練習を重ねていくうちに私は太鼓打っていないのに全員で打っているような一体感を感じました。「全員が主役」という言葉が一番身に染みて分かった瞬間でした。その次の練習から自分なりに工夫できるようになりました。この経験で少しは「義民の心」についてできたのかなと思います。

（1年女子）

☆ △ ☆ △ ☆ △ ☆ △ ☆ △ ☆ △ ☆ △ ☆ △ ☆

◀ **へんしゅうこうき**

青木村の子どもたちは必ず一度は義民太鼓を保存会の方に教えて頂く機会があります。この貴重な体験がずっと続くといいですね。

「青木村子どもはつつネットワーク通信」で取り上げて欲しい内容がありましたら、教育委員会事務局までお知らせください。お待ちしております

